



遠藤幸子議員

### 若者たちに夢を

#### 魅力を感じる町づくり

**問** 成人式が、例年通りの内容で開かれた。新成人に、みんなの期待する気持は伝わっただろうか。

**答** (山口町長) 大人になったことを自覚して、その門出を祝い励ますために、町主催で厳粛な式典を開催している。合併後2回の成人式の様子を見ながら、祝ってもらっただけでなく、成人たちが主体的に取り組む活動があっても良いのではないか、と想っている。今後は、新成人が参画する実行委員会を立ち上げるなど、企画、

運営などにも若者らしい内容を工夫したり、仕掛けづくりにも取り組みたい。

若者が大山町を好きになるために、魅力ある町づくりに積極的に関わって、くれることを期待している。そのためには、施策や取り組みが必要であるので、総合計画、大山恵みの里構想などの計画を通して展開したいと考えている。いろんな場面で若者が町に関わることで、町への愛情が生まれ、定住化にもつながって

行くと思っている。交通網や情報通信基盤などの整備、文化活動などの地域活動を振興しながら、住宅施策・産業・雇用対策にさらに取り組み、若者が魅力を感じる町づくりを進めていきたい。



町内のコーラスグループもお祝い



西尾寿博議員

### 消防団の維持

#### 意欲ある人材を確保

**問** 防災の共助である消防団は、火災ばかりでなく、テロ、地震災害等の発生時には身近な救助隊として一番頼りになるものである。

少子高齢化等で集落の崩壊が始まり、消防団も存続が厳しい状況にある

が、やる気のある団員確保はどうなのか。また、合併時に一度解散したが、中山地区には婦人消防組織が存続している。これからどうするのか。

**答** (山口町長)

機能別団員制度の創設や、町内事業所勤務者の勧誘、女性団員など、地域防災に對し意欲ある人材の確保に努める。



災害に備え消防訓練

また、自衛消防は、各区・部落に86、婦人消防隊も32隊、合わせて707人

が消火、防災活動をしている。自主防災組織も現在21団体設置しており、今後、全区・部落に広げることと合わせ、組織活動の充実を図る。

#### ゴミ袋の支給

#### 慎重に検討

**問** 乳児や、介護が必要な高齢者を抱える家庭に、鳥取県4市と同様にゴミ袋を、年間使用枚数の半分程度支給する気はないか。

**答** (山口町長)

さまざまな子育て支援施策をしているが、弱者支援、子育て支援のためのゴミ袋の支給については、慎重に検討する。